

議案第30号「令和5年度守口市一般会計予算」

本委員会が付託を受けました議案第30号中、所管費目に関する審査の結果を御報告申し上げます。

本委員会といたしましては、細部にわたり検討を加え、慎重に審査を行いました結果、次に申し述べます希望意見を付し、賛成多数をもって、これを原案どおり可決すべきものと決した次第であります。

なお、杉本委員におかれましては、外島認定こども園の費用が含まれているとの理由から、反対の意を表明されましたことを付言いたします。

それでは、本委員会が付した希望意見を申し述べます。

第1点

生活保護における医療扶助費については、被保護者の高齢化などにより、一人当たりの診療報酬は増加傾向にあるとのことであるが、引き続き、レセプト点検を徹底することはもとより、今一度、頻回受診・重複受診への指導を強化しつつ、ジェネリック医薬品の使用促進に努めるなど、医療扶助費の適正化に取り組まれないこと。

第2点

民間保育士緊急確保支援事業については、令和5年度をもって終了する予定であるとのことであるが、当該事業は、保育人材確保の観点から、有効な方策の一つであると考えられることから、引き続き、市としても、継続的な支援を検討されたいこと。

第3点

送迎バス安全装置設置補助事業については、認定こども園等で所有している通園バスに関して、国のガイドラインに適合したブザー等の安全装置を各施設事業者が設置することである。当該事業の実施に当たっては、安全装置が設置された場合でも、バス降車時におけ

る目視での確認を徹底することはもちろんのこと、市として、定期的な施設への立入調査や現場指導を行うなど、引き続き、安全管理に意を配されたいこと。

第4点

新年度からの本格導入を予定している、学校・家庭間におけるデジタル連絡ツールについては、今年度試行導入した中で、保護者や教職員へのアンケート結果から、保護者や学校の負担軽減に繋がっているという意見がある一方、未だ導入に至っていない学校もあるとのことである。よって、当該事業の導入に際しては、教育委員会として、引き続き、保護者等への丁寧な説明を心がけるとともに、学校とも連携を図りつつ、全校での実施に向け、鋭意取り組みたいこと。

以上、委員長報告といたします。